

1 社会・治安情勢

当国ではルサカ市を取り囲むようにコンパウンド（貧困層地区）が存在し、それらの地区では儀式殺人事件などの凶悪犯罪が発生しやすい傾向にある。全国的に貧困率は依然として高く、特に首都ルサカ市、南部州リビングストーン市観光地区、コッパーベルト州の主要都市等を中心に失業者やエイズ孤児等が溢れている。今般、南アフリカで起こった外国人排斥運動でザンビア人が死亡したことにより、ザンビア大学の学生が南アフリカ資本のスーパー等を襲撃する事案が発生した。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（１）在留邦人が多数居住し比較的安全とされているルサカ市においても銃器を使用した複数犯による住居侵入強盗、車両強盗、路上強盗が断続的に発生しており、特に、夕方から深夜にかけての犯行が多い傾向である。日中であつても人の集まる所では、スリや置き引きなどが発生しており、最近では偽札を使用した犯罪や、使用人や自宅を警備している警備員が共謀し、留守になった自宅で窃盗を行う事案が多くなってきている。

（２）邦人被害事案

- ア 7月2日、ニンバの在留邦人宅に賊が侵入。在留邦人の財布から現金が窃取される事案が発生。賊は近隣に住む住人であった。
- イ 7月9日深夜、ルサカ市内の在留邦人宅に賊が侵入。40000クワチャ相当が窃取される事案が発生。在留邦人は就寝中で賊の犯行には気づかなかった。
- ウ 7月18日深夜、在留邦人宅に賊が押し入った。賊は在留邦人家族を一室に押し込めると家財道具等を窃取した。被害総額は10000米ドル以上に及んだ。
- エ 7月22日、ルサカ市内のカムワラマーケットにて邦人旅行客が携帯電話を窃取される事案が発生した。

（３）邦人以外の被害事案

- ア 8月18日、東部州チパタにおいて警察が6人の賊に懸賞金を掛けた。同人達は一般人宅に押し入り2丁のピストルと56発の弾丸を窃取した。同人達は一般人宅に侵入する際も、敷地内を警備している警備員を縛り上げるなどしたあと、住人達をガレージに監禁するなどしている。
- イ 9月3日、コパーベルト州キトゥエにて6人のタンザニア人が逮捕された。同人達は日中から夜間にかけて住居に侵入。ノートパソコンや現金、腕時計を窃取した。また、同人達は中国人やインド人など外国人をターゲットとしていた。
- ウ 9月19日、ルサカ市内のパキスタン人宅において、強盗が発生。賊は195000クワチャ及び宝石を窃取。なお、当事案は同人宅で働くメイドが賊を手引きしていたことが判明している。

3 テロ・爆弾事件発生状況

当該事件の発生は認知していない。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

当該事件の発生は認知していない。

5 日本企業の安全に関する諸問題

問題とされる情報に接していない。